

最優秀賞

B & Gなごや海洋クラブ

最多6つのアイデアを提案。安全性・乗りやすさともに高評価を獲得し、最優秀賞に選ばれました。

カムをデッキに取り付けてメインシートを固定

改造内容

メインシートが固定できるように両サイドのデッキにカムを取り付け（デッキに穴をあける作業が必要）ここにメインシートを固定することで、ティラーの操作のみに意識を集中することが出来る。

制作費は、カム2ヶ、総額1万～1.5万円前後。

コメント

初級者はセーリングの理屈が難しいこともあり、ティラー操作とロープの同時操作ができないものである。ルール上、メインシートにカムを付けることは禁じられているが、初心者の体験には効果的である。



カムブロックを取り付けてメインシートを固定

改造内容

メインシートのブロックをカム付きのものとは交換してメインシートを固定できるようにすることで、ティラーの操作のみに意識を集中することが出来る。

制作費は、カム付きブロック1ヶ、1万円前後。

コメント

アイデアと同様、初心者への指導を目的としており、操作が比較的簡単になると思う。



風見の取り付け位置の変更

改造内容

OP級の風見（ウインデックス）は、本来マストのトップについています。視線に入りにくいマストトップだけでなく、視線に入る位置に装着してみました。

どこから風が吹いてきているか知るための道具になります。

制作費は、マスト装着タイプ（写真上）が、3000円程度（市販されている）。パウ装着タイプ（写真下）の鉄の棒とスピークロス、又は毛糸は100～300円程度。

コメント

初級者は目に見えない風がどこから吹いてきているか分からないが、本来マストトップに装着されている風見を見るよう指導しても上手くいかないことが多いので、目に見える場所に設置してみた。



ブームへの緩衝材取り付け

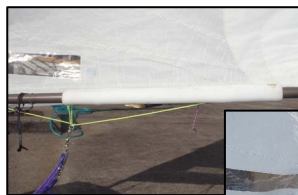
改造内容

ブームに緩衝材を約1メートル程度巻きつける。
タック、ジャイブ時にブームで頭を打ったとしても緩衝材があることで頭部への衝撃を大幅に軽減できる。

制作費は、緩衝材約1メートル程度300円～500円程度。

コメント

初心者はよく、タック、ジャイブの際にブームで頭を打ってしまう（通称ブームパンチ）この為に、ヨット嫌いになる子供も大勢います。 初級者はヘルメットを被って頭を保護することも有効だが、やはり乗りにくかったり、夏は非常に暑くあまり快適とは言えない。 緩衝材をブームに巻いておけば、ブームパンチを食らったときの衝撃はかなり緩和されると思う。



セルフティラーへの改造

改造内容

ショックコードをティラーが左右に引っ張られるよう装着。
適度な太さ、適度な強さのショックコードでティラーを左右に引っ張ることで手を離れた際に自動的にセンターに戻る。

制作費は、ショックコード代、100～300円程度。

コメント

初級者というものは操船方法が分からないためついついティラーを大きく切り過ぎたりする。加えてタックやジャイブ後に大きくティラーを切った後、センターに戻し遅れることで、なかなか船を真っ直ぐ帆走させることができないので、この工夫が初級者の操船を補助するものになると思う。



セイルカットによる初心者向けセイルへの改造

改造内容

セイルの下部エリアを30～50cm程カットするこれにより
タック、ジャイブ時にブームで頭を打つことがなくなる。
また、セイルエリアが減少することで強い風でもヒール（船が傾くこと）が軽減される。

制作費は、セイルのリカット費用（5千円～1万円程度）、

又は専用セイルの制作（3～4万円前後か）

コメント

ブームパンチを避けられる。加えてセイルエリアも減少することで練習できる風域も広がる（少々強い風の中でも練習できる）のでまさに一石二鳥か。だがわざわざその専用セイルを作る必要があることと、帆走性能が著しく落ちる可能性もあるのでそのあたりが難点か？



（写真は、ブームにロールすることでイメージしています）

審査員のコメント

トータルとして全アイデアの中で最高得点を獲得し、安全性、乗りやすさ含めてよく考えられています。ただし、『風見の取り付け位置の変更』のアイデアについては、パウやマストに風見を設置する事によって、曳航時にロープがひっかかるなどの妨げになってしまうことが考えられます。この部分の安全性という点で改良は要します。